

## トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## 平成30年台風21号等被害からの森林再生に向けて～貴船山・鞍馬山国有林での取組～

### 【企画調整課】

貴船山・鞍馬山国有林のある貴船地区は、京都市街地の北方に位置し、中央に貴船神社が鎮座し、貴船川沿いには料理旅館等が建ち並び人気観光スポットです。平成30年9月に発生した台風第21号は、その貴船山・鞍馬山国有林で大規模な森林被害（53箇所、約13ha）を発生させるだけでなく、大径の風倒木が落下して2軒の家屋を全壊させるとともに、風倒木による電線の切断や公道等への倒木などにより、公共インフラへも大きな影響をもたらしました。



【貴船茶屋（出典元：貴船茶屋HP）】



【風倒木の状況】



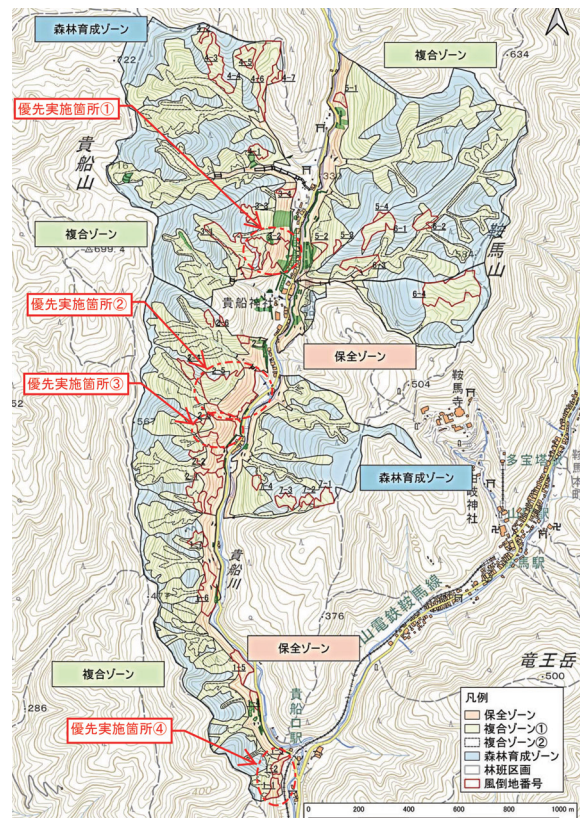
### 1 被災直後の対応と森林再生全体計画の策定

近畿中国森林管理局では、被災直後から家屋を直撃した風倒木の撤去を進めるとともに、関係機関と連携しながら、公道等に影響を与えている被害木・危険木の伐採・整理にあたりました。

令和元年度には、森林被害の本格復旧に向け、有識者からなる検討委員会を立ち上げて議論を重ね、「森林再生全体計画」を策定しました。

### 2 森林再生全体計画と事業の進捗

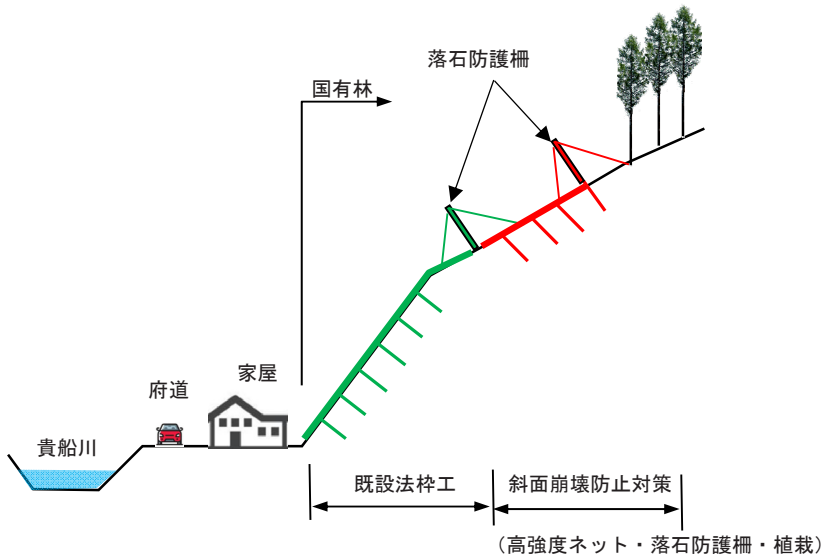
森林再生全体計画では、①森林づくりの方針の全体像を示すためのゾーニング、②被害箇所における属地的な風倒木の処理方法等、③被害地での森林再生（広葉樹林化等）に向けた施業のあり方についての方針を定めるとともに、特に優先度の高い被害地4箇所（ゾーン区分図及び優先実施箇所位置図参照）については、既に森林再生に向けた事業に着手しており、その内容と進捗状況は以下のとおりです。



【ゾーン区分図及び優先実施箇所位置図】

(1) 優先実施箇所①

風倒木についてはヘリコプターにより搬出済（令和元年12月）です。風倒木地等からの崩壊・落石による家屋への直接被害を防止するため、高強度ネット工による崩壊対策に加えて、上部からの落石防止対策として落石防護柵を設置します。高強度ネット工の北側及び上部については、植栽により森林の再生を行う予定です。



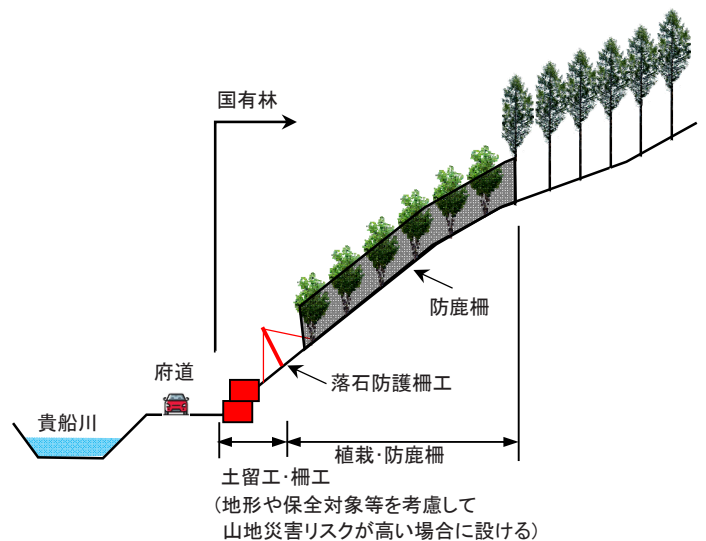
【風倒木をヘリコプターで搬出】

(2) 優先実施箇所②

風倒木についてはヘリコプター及びクレーンにより搬出済（令和2年3月）です。また、落石が府道等へ直接被害を及ぼさないよう、落石防護柵の設置も完了（令和元年12月）しています。風倒木処理後は、林地の状況に応じ表土の流出防止や傾斜の安定を図りながら、防鹿柵を設置し、広葉樹等を植栽する予定です。さらに状況に応じて山脚部に山腹工（土留工・柵工）などを行います。



【落石防護柵設置、風倒木処理後】

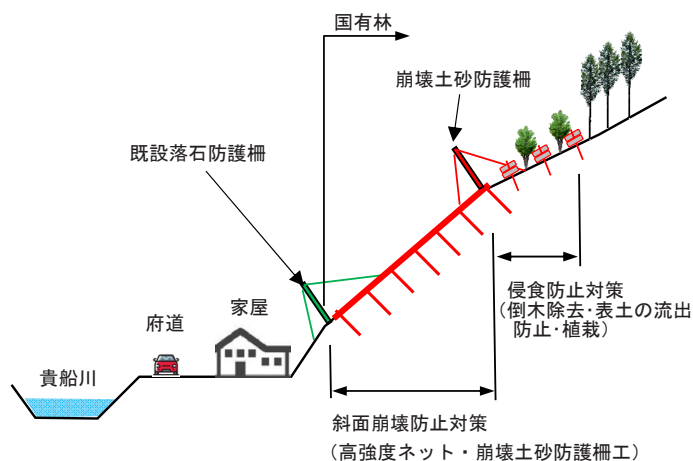


### (3) 優先実施箇所③

風倒木についてはヘリコプター及びモノレールで搬出済（令和2年7月）です。風倒木処理後は、優先実施箇所①と同様、家屋等を保護する観点から、高強度ネット工による崩壊対策に加えて、上部からの崩壊・落石対策として崩壊土砂防護柵を設置します。このほか、高強度ネット工の上部については、表土の流出防止を図り、そこへ植栽を行う予定です。

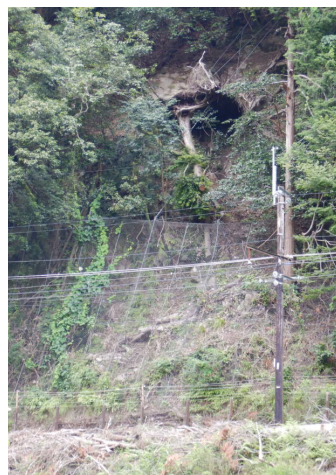


【ヘリコプターで搬出するため風倒木を※玉切り】

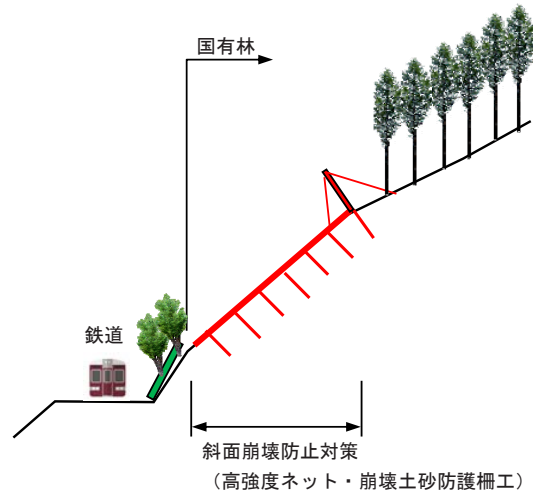


### (4) 優先実施箇所④

風倒木についてはヘリコプター及びモノレールで搬出予定です。風倒木処理後は、優先実施箇所①と同様、鉄道等を保護する観点から、高強度ネット工による崩壊対策に加えて、上部からの崩壊・落石対策として落石防護柵を設置します。



【線路へ落下しそうな風倒木を処理】



## 3 森林再生に向けて

貴船地区の住民の代表者の方々とは被災前から定期的（年1回）に貴船山・鞍馬山国有林の施業や管理について懇談する場を設けてきました。今回の森林再生全体計画の策定に当たっても事前にご意見をいただくとともに、令和2年6月には住民の皆様を対象に森林再生全体計画の説明会を開催したところです。

貴船山・鞍馬山国有林の森林再生は、緒に就いたばかりですが、これまで以上に地域住民をはじめとした関係者のご理解とご協力が不可欠と考えており、引き続き意見交換等を行いながら一日も早い森林再生に向けて事業に取り組んでまいります。

※用語解説 玉切り：立木の伐倒後、枝払いをし、木の特徴に合わせ規定の寸法に切断して素材丸太にすること。切断された丸太を玉という。出典 大辞林 第三版

## ニュース

## ほうれんやま 方蓮山国有林の「TOA育みの森」で森林整備が行われました。

### 【兵庫森林管理署】

9月19日（土）、姫路市にある<sup>ほうれんやま</sup>方蓮山国有林の「TOA育みの森」において、東亜建設工業株式会社の皆様による森林整備活動が行われました。

この日は、今年4月、同社と兵庫森林管理署との間で「社会貢献の森」協定が締結されてから、社員の皆様が集まって活動される最初の日となり、広島市にある同社中国支店を中心に社員約20人が参加しました。



【TOA 看板前で記念撮影】

国有林入口にある「灘のけんか祭り」で知られる松原八幡宮前に集し、佐藤執行役員中国支店長からの挨拶の後、「TOA育みの森」に向かって出発し、徒歩15分ほどで到着した後、8月に建てたばかりの真新しい看板の周りで記念撮影を行いました。現地は、山火事跡地に抵抗性アカマツ、コナラ、ヤマモモを植栽して3年しか経っておらず、視界を遮るものはありません。素晴らしく晴れ渡り、瀬戸内海の向こうに淡路島、家島、小豆島の島々が一望されました。

その後、各自鎌を持って元気に下刈り作業を行いました。日差しが強く暑い日でしたが、いい汗がかけたと思います。一部の参加者は、近くにある<sup>おたびやま</sup>御旅山にも登り、山頂からの眺望を楽しんでいました。

作業終了後、松原八幡宮前に向かって出発。さわやかな風が吹き、作業をやり終えた充実感を心地よく感じながら下山し、来年も活動することを約束して活動終了となりました。

ここでは、姫路市街からも簡単に登れるため登山者が多く、「TOA育みの森」での活動が始まったことを歓迎する声が聞かれます。これからも活動を通じて地域にも親しまれる森林が育っていくことを期待しています。

## 県職員を対象に林業労働安全確保対策について講話しました。

### 【鳥取森林管理署】

9月2日（水）及び7日（月）の2日間かけて県内3地区において、鳥取県及び鳥取県林業災害防止連絡協議会が主催する「県職員森林整備事業等監督業務スキルアップ研修」が実施されました。



【日野振興センター会場】



【八頭事務所会場】

本研修は、本年の県内の林業現場における労働災害が、8月末時点で昨年1年間の13件を超え既に18件発生しているという憂慮すべき事態を背景として、「民有林における森林整備事業において、さらに効果的な安全対策の取組を実施すべきではないか」との問題意識から実施されたもので、6月29日に実施された「鳥取県林業リスクアセスメント研修会」（8月号で掲載）に引き続き行われたものです。



【講話する署長】

森林管理署長を含む3人の講師（署長のほかには鳥取労働局労働基準部長及び林業・木材製造業労働災害防止協会安全管理士）からは、県の事業担当職員を対象に、すでに承知の基本的な留意事項であっても、しつこく何度も何度も繰り返し現場で注意喚起すること、第三者に見られている意識を持って頂くことが重要であること及びひとたび災害が起こると本人だけでなく家族も悲痛な思いにさらされるなどの説明がありました。今後も、労働行政、林業行政、災害防止等関係団体及び林業関係団体等の各機関が更に強く連携して、県内の各林業事業体の労働安全対策が強化されるとともに、林業労働災害が0（ゼロ）になることを願うところです。

## 低コスト林業についての現地検討会を行いました。

### 【広島北部森林管理署】

広島北部森林管理署では、民有林関係者と連携を図りながら、これまで林産物の安定的供給、民有林が連携した効率的な路網の整備や低コスト林業への取組を展開してきました。特に低コスト林業については、下刈り省略や路網整備などをテーマとして重点的に取り組んできました。しかし、低コスト林業の推進と併せて重要な課題が林業従事者の確保、担い手の育成です。

近年の林業従事者の動向では、全国で昭和60年の約126千人から、平成27年には約45千人と減少しています。このような中であって、伐木・造材分野では直近の5年間は増加に転じているものの、下刈り、植付けなどの育林分野では、長期的に減少傾向にあります。経費のコスト減も重要ですが、今後、主伐・再造林が多くを占めることを考えると、育林分野において林業従事者を確保していくとともに、下刈り作業など過酷な労働環境の改善も低コスト林業を進めていく上では、避けて通れない課題でもあります。



【作業する先進造林用機械】

このため、広島北部森林管理署では、9月2日、県、市町の林務担当者、森林組合、林業事業体、森林管理署などの林務担当者約80名が参加した先進造林用機械による下刈り作業の労働軽減についての現地検討会をほととぎすやま時鳥山国有林で行いました。検討会では、参加者から「刈払い機による作業に比べ、先進造林用機械による作業では、どの程度労働力が軽減されるのか」、「メンテナンスの経費は」などの質問が出されました。広島北部森林管理署では、地域の森林・林業の再生のため様々な課題の解決に向けた取組を今後も展開していきます。



【会場での機械の説明】

## 近畿大学3回生4名のインターンシップ受入を行いました。

### 【奈良森林管理事務所】

奈良森林管理事務所では、令和2年9月7日（月）～9日（水）の3日間、近畿中国森林管理局と連携協力協定を結んでいる近畿大学の学生（農学部環境管理学科3回生4名）をインターンシップとして受け入れました。



【修景伐採木の調査】

今回、学生の皆様に体験いただいた内容は、1.カシノナガキクイムシによる被害木の調査、2.国民ニーズに対応するために実施する修景伐採木の調査、3.地域住民の安全安心のための治山事業についてです。なお、最終日には、所内職員と意見交換を行い、学生からは、今回の体験を通じて「将来はICTを活用して林業の改革をしたい」、「働きやすい職場と感じられたので、是非職場に入庁したい」などの意見をいただき、また、終始真面目に各業務体験に取り組む積極的な姿が印象的でした。

奈良森林管理事務所では、今後もインターンシップの受入に対し積極的に取り組むこととしています。



【カシノナガキクイムシの被害木調査】



【治山工事予定箇所の測量】

## お知らせ

## 【技術普及課】森林のギャラリー（局庁舎1階）

○現在の展示は10月18日までです。次の展示は11月2日からになります。展示内容は下記の局ホームページで確認できます。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



## 【技術普及課】

○「水都おおさか森林の市2020」の開催中止

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大防止のため、開催の中止を決定しました。



<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/200918.html>

## 【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙（47通目）を公開中です。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.html>



## 【計画課】



○デジタル情報を活用した森林資源管理のスマート化を目指す「森林資源管理のみらいチャレンジ研究会」の参加企業・大学等を募集しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/200925.html>



## 【箕面森林ふれあいセンター】

○こだま通信111号を公開中です

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/booklet/kodamatushin.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html)



## 【広島北部森林管理署】

○かわら版「ひろほく通信」第18号を発行しました。

[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohoku\\_tusin/hirohoku\\_tusin.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/information/hirohoku_tusin/hirohoku_tusin.html)



html

## 我が署のスタッフ 広島北部森林管理署 堀口 和真(ほりぐち かずま) (平成31年度採用)

## 【現在取り組んでいる仕事は？】

今年度から森林育成担当となり、伐採跡地への苗の植栽、植栽木が大きくなるまでの保育に係る仕事を主にしています。近年、林業の低コスト化が注目されており、その中でも植栽からおおよそ15年までにかかる初期段階のコストをいかに減らすかが重要なカギとなっています。採用2年目でまだ分からないことだらけですが、頼りになる上司や先輩方にご指導いただきながら日々勉強して、こういった課題を考えながら仕事に取り組んでいます。

## 【職場の雰囲気は？】

ピリッとした緊張感がありつつ適度に和やかな雰囲気もあって、集中しながらもリフレッシュできるメリハリのある環境だと思います。

## 【林野庁の魅力は？】

日本全国で働くチャンスがあること、現場での仕事が多く自然の中で仕事ができることだと思います。現在、日本の林業・木材産業は多くの課題を抱えていますが、同時に大きな可能性も秘めていると思います。森林資源が充実している今、日本の森林面積の3割を占める国有林の職員として、林業・木材産業に携わりながら仕事ができることも林野庁の魅力だと思います。



【防護柵を点検中】

## 森林官等紹介

### 高島森林事務所（滋賀森林管理署）

森林官 堀 恵助（ほり けいすけ）

高島森林事務所は、琵琶湖の北西部に位置する高島市に所在し、国有林 4,683HA、官行造林 272HA を管理しており、国有林の9割以上が市北部に連なるように位置しています。

標高は 1000 m 以下ですが急な斜面も少なくありません。管内国有林の人工林はスギが大多数を占め、ツキノワグマやクマタカなども生息しています。福井県に接する三国岳南東側斜面の国有林には、希少な湿原植物キンコウカ等の保護を目的として、三国山湿原植物希少<sup>みくにだけ</sup>個体群保護林が設定されています。また、人工林資源が利用期を迎える中、間伐による森林整備や路網の整備を行い、これに伴い生産される間伐材を供給する事業も行っています。

高島市内には約 80 km にわたる「中央分水嶺・高島トレイル」（新日本歩く道紀行 100 選シリーズ。森の道 100 選）があります。その一部は国有林内にあり、四季折々の自然とふれあいながら多様な風景が楽しめるため、多くの登山者に利用されています。また、国有林の近くには、高島市の観光地である「マキノ高原のメタセコイア並木道」（新・日本の街路樹 100 景）があり、年間を通じて多くの観光客で賑わっています。



【三国山湿原植物希少個体群保護林】



【生産した間伐材の供給】



【赤坂山から望む稜線（トレイル）】



【マキノ高原のメタセコイア並木道】

# シリーズ『国有林 最前線!』

## インターンシップ受け入れ

### 島根森林管理署

島根森林管理署では、大学生などを対象としたインターンシップを平成29年から毎年受け入れています。

今年度は9月7日(月)～11日(金)までの5日間に大学生1名を受け入れました。

インターンシップ参加者本人から「森林官という仕事や島根森林管理署と地域林政への関わりを勉強したい」というリクエストがあ

り、それに応える形で、森林管理署の概要説明、国内の森林・林業、木材産業の現状の説明を署長が行った後、1日森林官体験、低コスト化に向けた取組として実施した一貫作業システムの現地調査、豪雨災害発生後の復旧計画策定業務などの現場業務を、当署の若手職員も同行し体験をしてもらいました。

インターンシップ参加者から今回の体験を通じて「実際に現場で職務体験や森林・林業に関わる話を聞いたり、実際に作業させてもらったことで職場のイメージを感じることができ、国有林の役割や国有林を守り育てて活かす、職員のみなさんの姿が『かっこいい、楽しそう』と率直に思った」との感想をいただきました。

島根森林管理署では、インターンシップに参加した学生の方が今回の体験を通じて、将来、林業・木材産業関連の職場に就職し活躍されることを期待しています。

今後も学生の方達の進路活動に役立てて頂けるようにインターンシップ受け入れを行うこととしています。



【森林官から巡視業務の説明 (三瓶山国有林) さんべさん】



【豪雨災害箇所<sup>たけやま</sup>の復旧計画のための調査 (竹山国有林)】



【コンテナ苗植栽器具を使った植栽体験 (艾山国有林) よもぎやま】